

第2回懇話会でいただいた意見

No.	対象年度	実施メニュー	担当部 担当課	要望・意見等(議事録から抜粋)
	R1	全体	全体	<p>年度の中間地点ですので年度の達成見込みがどうかというところですが、特定検診として予定している事業を今順調に進んでいますので100%いきますよと書いてありますが、去年がどうだったかという、順調にすすんでいましたが107%と97%ということで結局行政評価そのものは、やっていることが本当に効果があるのかどうかということでデータで示してそれが本当にどうだったのかを確認するのが基本だと思いますので、やっているからいいですよという書き方はどうかと思います。これも、書き方の問題になってしまうかもしれません。どういう書き方がいかに分かりませんが、これもバーにするとか実績の見込み100%を達成見込みだということはどうかと思います。</p> <p>公共施設の有効利用、図書館の入館者数の目標値があって実績値がR2年3月31日で見込だと思いますが、一般的な書き方とすれば、半年の9月末時点、あるいは、10月末時点、11月末時点で累積があって前年度と比較するところだから100%の見込みがある、あるいは厳しいのかという書き方をの方が普通だと思いますのでご検討いただければと思います。</p> <p>全てに関係すると思いますが、数字の目標、数字の根拠が何でこうなっているのか私たちは議論していますが、多くの市民が見る資料ですので出てきた数字の根拠があった方が総括表に載せるのは無理かもしれませんが、個表や進捗管理表に市民向けに書いた方が分かりやすいと思います。</p>
	R1	全体	全体	<p>変わり方に対してどのように対応するということが、ある種の変化対応の管理というか、ある程度予測して対応しなければいけない場合があります。単純に少子化、高齢化などの問題では片づけられない大きな流れの変化があるように感じます。ただ、数字をみるだけではなく、何故かなという奥の部分を皆様で探求しながら改善する必要があるのではないかと感じました。</p>
	R1	全体	全体	<p>令和元年の12番の公共施設の有効利用(市営住宅)についてですが、今までの考え方が良かったのか問題定義をしておきたいと思います。資料3の個票の45ページですが、平成29年の資料と比べてみたら、下の2つの欄「得られた効果」から下の「平成30年度末時点での課題を把握」の部分が全く同じでコピーされていました。これで、年間の事業を進めていっているのか、逆に疑問を問います。疑問視されるような資料の作り方ですので、一生懸命やっていることは私も理解はしています。こういう資料を作っていると、本当にやっているのが成り行きでしか進んでいないのではないかと捉えかねない。</p>
	後期	全体	全体	<p>令和2年、3年という事ですが、年号が変わりましたので全体的に中身をかなり変えていただきたいです。なぜかという、ここにいる行政よりも外が変わってきています。今まで通りや今までの改善では間に合わないところがあるかもしれませんのでぜひ積極的にいろいろな分野でチャレンジしていただきたいなと思います。平成から令和になり、来年はオリンピックの年でもあります。時代が変わってきていますので、変わらないでいるのではなく、自分達も変えていくことをまず実行してください。失敗をしてもいいのです。成功するまでやればいだけの話です。ぜひ、くじけずにやってください。お願いします。</p>
1		定員管理計画の策定及び推進 委員からの要望等	総務部 総務課	
2		業務形態の見直し	企画財政部 企画政策課	
3		がんの早期発見・早期受診対策	健康福祉部 健康づくり課	
4		放課後児童クラブの持続可能な運営の研究	こども未来部 こども政策課	

No.	対象年度	実施メニュー	担当部 担当課	要望・意見等(議事録から抜粋)
5		未収金対策の推進	企画財政部 調整室	
6		税外収入の推進	企画財政部 企画政策課	
7		ふるさと納税制度の活用	建設経済部 商工観光課	
9	後期	下水道経営の健全化	生活環境部 下水道課	企業会計、病院会計、水道会計、下水道会計全てに通じますが、経常収支比率100%と全てに入っていますが、これも意味はありますか。先ほどのお話の通りですが一般会計からの繰出し金、繰入金を少なくするのは本来の目標であるならば、正直に書いてしまえばどうでしょう。
10	後期	水道経営の健全化	生活環境部 水道課	企業会計、病院会計、水道会計、下水道会計全てに通じますが、経常収支比率100%と全てに入っていますが、これも意味はありますか。先ほどのお話の通りですが一般会計からの繰出し金、繰入金を少なくするのは本来の目標であるならば、正直に書いてしまえばどうでしょう。
11	後期	病院経営の健全化	菊川病院 経営企画課	企業会計、病院会計、水道会計、下水道会計全てに通じますが、経常収支比率100%と全てに入っていますが、これも意味はありますか。先ほどのお話の通りですが一般会計からの繰出し金、繰入金を少なくするのは本来の目標であるならば、正直に書いてしまえばどうでしょう。
12		基礎的財政収支(菊川方式)の黒字化	企画財政部 財政課	
13		公共施設個別施設計画の推進	企画財政部 財政課	
14		公共施設の有効利用(市営住宅)	建設経済部 都市計画課	意見が多いため議事録(ホームページ参照)。
16		遊休市有地の有効利用	企画財政部 財政課	
30年度	H30	公共施設の有効利用(市立小中学校プール)	教育文化部 社会教育課	小中学校プール開放のための検討で見送りに決定したのが100%の達成というのはどうしても違和感があります。書き方の問題で、それがルールと言われればそうなのでしょうけれども、横線のバーにしてしまうとか、達成というのはどこか違うと思います。
		その他	総務部 地域支援課	ある町で同じようなことをやっていますが、自治会といいますが隣組を総合計画でやっていただければいいのですが、小さな町にお伺いした時に一つの隣組に昔は15軒ありましたが現在は5軒になってしまい実際の軒数は2軒になってしまっています。自治会組織は行政組織ではありませんが街づくりの一環になっております。そのことも、ここでやるのか別の所でやるのか総合計画審議会で行っていただければいいのですが、もしそこでもとなるようなら、生活の基盤を揺るがすものすごく重要な問題になりますので、本部会の方でも議論していただきたいと思います。